

7. 生産・出荷・在庫

生産は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の影響もあって、増加している。

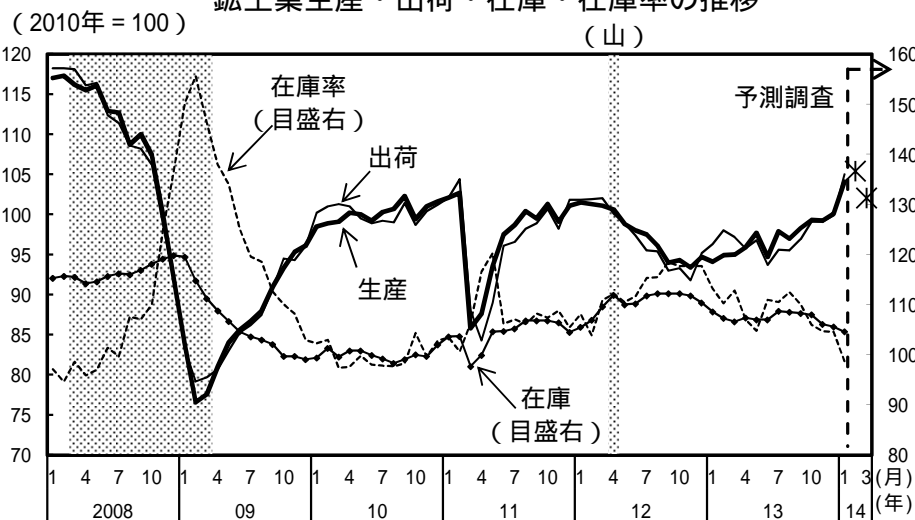
(前年同期(月)比、[]内は暦年前年比、()内は季調済前期(月)比、%)

	[2012年] 2012年度	[2013年] 2013年度	2013年 4 - 6 月期	7 - 9 月期	10 - 12 月期	2013年 11月	12月	2014年 1月
鉱工業生産	[0.6] 2.9	[0.8] -	(1.5) 3.1	(1.7) 2.3	(1.8) 5.7	(0.1) 4.8	(0.9) 7.1	P (4.0) P 10.6
鉱工業出荷	[1.2] 1.8	[0.6] -	(1.9) 3.5	(0.6) 1.6	(3.5) 6.4	(0.0) 6.6	(0.8) 6.3	P (5.1) P 9.0
鉱工業在庫	[5.2] 2.7	[4.3] -	(0.4) 2.9	(1.2) 3.5	(2.5) 4.3	(1.8) 5.1	(0.5) 4.3	P (0.9) P 3.7
製造工業生産能力指数 (2010年 = 100)	[98.2] 98.0	[97.1] -	97.0	96.7	97.1	97.2	97.1	
製造工業稼働率指数 (2010年 = 100)	[97.8] 95.4	[97.3] -	96.6	98.3	100.0	99.1	101.3	
第3次産業 活動指数	[1.4] 0.7	^P [0.6] -	(0.7) 1.2	(0.1) 1.1	^P (0.3) 0.5	(0.8) 0.5	^P (0.5) 0.8	^P (0.9) ^p 2.0

予測調査
2月 1.3%
3月 3.2%

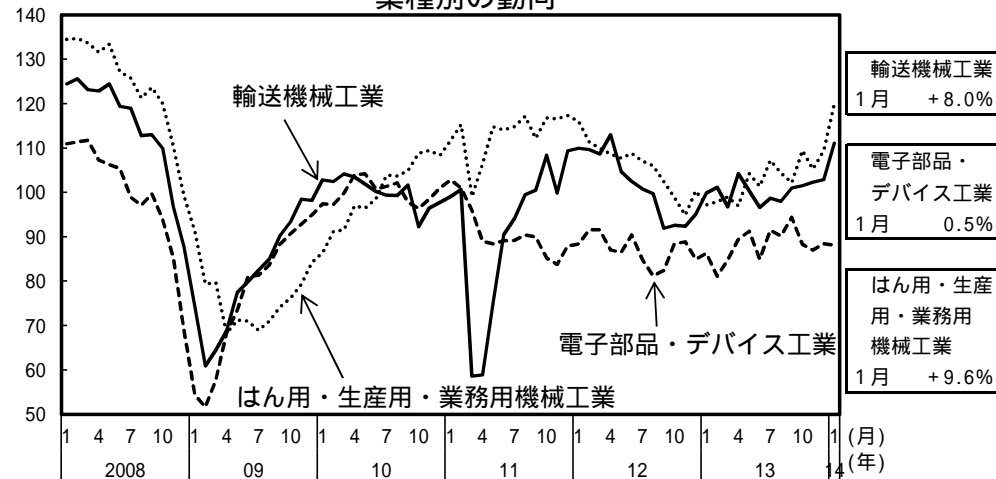
- (備考) 1. 鉱工業在庫の暦年、年度は期末値(原数値)、四半期は期末値(原数値及び季節調整値)。
2. 製造工業生産能力指数の暦年、年度、四半期は期末値(原数値)。
3. 製造工業稼働率指数の暦年、年度は平均値(原数値)、四半期は平均値(季節調整値)。
4. Pは速報値。

鋳工業生産・出荷・在庫・在庫率の推移

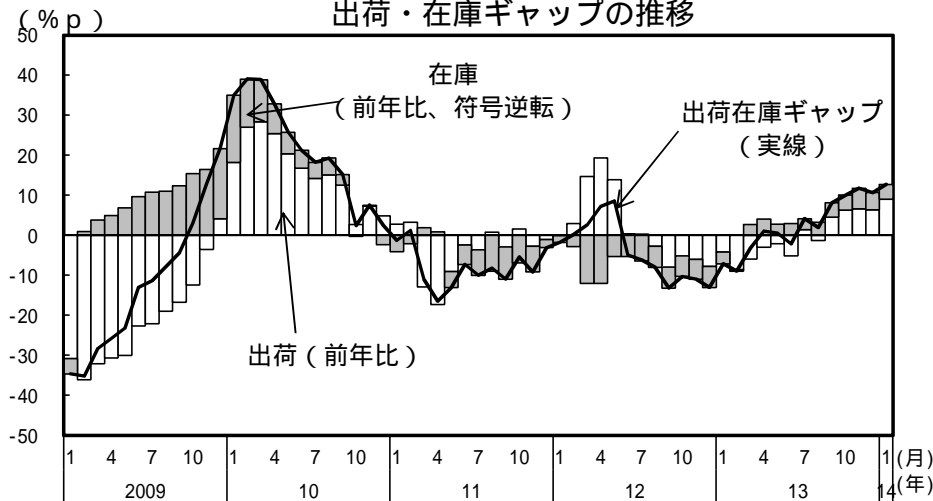


(2010年 = 100)

業種別の動向

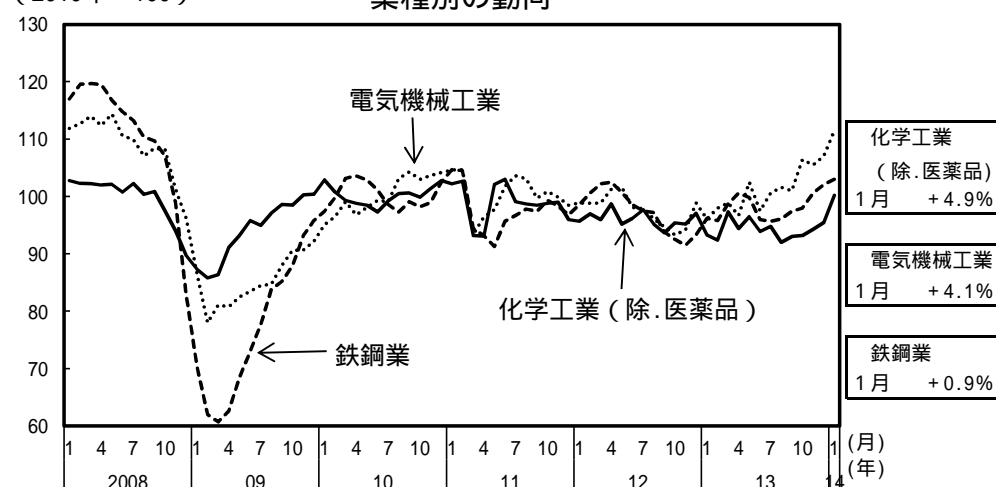


出荷・在庫ギャップの推移



(2010年 = 100)

業種別の動向



(備考) 上図：経済産業省「鋳工業指数」により作成。
 季節調整指数(2010年 = 100)。シャドー部は景気後退期を表す。また、2012年4月の山は暫定。
 下図：経済産業省「鋳工業指数」により作成。
 出荷・在庫ギャップ = 出荷(前年比) - 在庫(前年比)

(備考) 上図、下図：経済産業省「鋳工業指数」により作成。